

ITC愛媛様との交流会

平成20年10月4日(土)松山市にてITC愛媛様と交流会を開催した。ITC中部からは広報委員会のメンバー10名が参加、4日午前中は全員で快晴下の松山城を見学し、午後からはITC愛媛・ITC中部共催、ITC協会・四国経済産業局後援の「ITコーディネータ支援活用セミナー」に参加した。会場は松山市の子規記念博物館で、ITC愛媛の吉田理事長挨拶、和澤(ITC中部)からITC中部の紹介、ついで井上新ITC(同)の「電子政府構想の現状と方向性」、岡部勝彦ITC(同)の「製造業におけるCADからCAEの活用について」、石川敏三ITC(ITC愛媛)の「BCPと情報機器」、地元の遠赤青汁株式会社より渡部一恵CIOの「ユーザー視点での今後のITCへの期待」の4講演が行われ、大変充実した内容(セミナー)となった。

研修会の後は松山市の酒蔵が開いている居酒屋「にきたつ庵」にてITC愛媛とITC中部のメンバーによる懇親会で闊達な意見交換が行われ、ITC活動の活性化とITC制度のさらなる定着化に向け決意を新たにしました。

翌5日は飛行機までの時間を利用して、道後温泉・石手寺・秋



ITC愛媛交流会

山兄弟記念館・坂の上の雲ミュージアムなどを訪ね、秋雨の松山を堪能した。

(ITC中部 和澤 功)

ITC中部企画委員会活動報告

ITC中部企画委員会では、2008年度の活動として、2つのイベントを企画・実行致しました。

まず、2008年9月11日～11月6日の計6日間で、「ITコーディネータ受験対策講座」を開催致しました。

今回は、某大手Sier様からのご要望で実現した講座で、講師は、ITC中部水口理事長と矢口副理事長をお願いしました。

内容は、第1回～3回までの3日間で「ITCプロセスガイドライン」の詳細を学習し、第4回目は「要求定義、要件定義の実際、RFPの記述」、第5回目、第6回目は実際のITC試験対策として、傾向と対策の講義、実際の試験に即した模擬試験と解答解説を行いました。

講義は、ただ講師が一方向的にしゃべるのではなく、グループ討議形式により、4～5名の小グループに分かれて討論し、まとまった内容を発表するというものでした。

模擬試験も2回に渡って行うことにより、本試験に対する順応性を高め、理解を深めるのに役立てて頂けたようです。

もう一つのイベントとして、2009年1月31日に「名刺交換会」を開催しました。23名の方にご参加頂き、高級クラブでITC中部会員同士の交流を深めることができました。



企画委員のメンバー(左から3番目が筆者)

また、会員以外の方にも出席頂き、ある若い技術者の方は、今年のITC試験に合格しITC中部に入会するというお約束をして頂きました(笑)。

本年度も継続して、企画委員会として様々な企画をし、お役に立てるイベントを開催したいと思います。

(ITC中部 稲崎 俊一)

事務局だより

1. 年会費の納付お願い

4月1日より平成21年度となりますので、年会費(¥5,000)を、下記銀行口座へお振込いただきますようお願いいたします。

<振込先>

銀行名:三菱東京UFJ銀行 金山支店
口座番号:普通 1090276

口座名義:トクテイヒエリカツドウハウジンアイ

なお、会社名でお振込の場合は、会社名と振込者(個人名)と合致させたく、振込日とITC中部の会員登録名を事務局まで、ご一報をお願いします。

2. 会員登録情報確認のお願い

広報誌「架け橋」を会員の皆様へ毎年2回発送しておりますが、返送されてくるケースが発生しております。広報誌が届かない、会員メールが届いていないという方は事務局までお知らせ下さい。

3. パンフレット、広報誌配布のお願い

ITC中部のパンフレットと広報誌「架け橋」をITコーディネータの知名度アップや、ITC中部への入会お願いなどにご活用下さい。ご入用の方は、事務局までご一報下さい。

ITC中部 事務局連絡先 info@itc-chubu.jp

(ITC中部事務局 鳥内 浩一)

NPO・ITC中部広報誌第12号 平成21年3月31日 発行

発行: NPO・ITC中部広報委員会(〒460-0022 名古屋市中区金山五丁目11-6(NSC)内)

発行責任者: NPO・ITC中部 理事長 水口 和美 編集責任者: NPO・ITC中部 広報委員長 伊藤 実

ホームページ(<http://www.itc-chubu.jp/>)

NPO・ITC中部 広報誌

架け橋

KAKEHASHI

Vol.12

ITCカンファレンス2008参加報告

新しい芽吹きが感じられる今日この頃、会員各位には、いかがお過ごしでしょうか。一面では、年度末の最後の追い込み時期でもあり、また、来る新年度に向けての準備最終段階も重なり、多忙な日々をご活躍されている事と存じます。

さて、私事、昨年10月に開催されましたITCカンファレンス2008に参加し、カンファレンス事務局からの誘いもあって、拙い事例発表をしてみました。本紙面をお借りして、皆様に報告をさせていただきます。

水口理事長が、機会ある毎に、ITCAに対して、ITC中部の存在や意義を、我々を代表して訴えて頂いています。前回の「IT経営カンファレンス in NAGOYA」もその一環としてITC中部が主体となって開催を致しました。私の今回の発表も、水口理事長の活動に賛同し、その一助にもなればと考えて、挑戦致しました。

以前にも、江坂理事からのご紹介がきっかけとなり、(財)名古屋市工業技術振興協会が主催する製造業企業向けセミナーでの事例発表をお引き受けた事がありました。

私は、それまで、不特定多数の方々に対してお話しする事もなく、ましてや、発表内容に充分な経験、知識を持ち合わせていなくて、本当にお恥ずかしい様子であったと想像されます。

セミナーを主催された(財)名古屋市工業技術振興協会様にも、また、本件をご紹介頂いた江坂理事にも申し訳ない思いでした。

しかし、この経験は、事前勝手な事を申し上げれば、私には、大変貴重な財産となりました。

この事が無ければ、今回の報告も無く、先日の大垣商工会議所主催「IT経営セミナー」での講師役を担う事も無かったでしょう。

そう言う意味で、元々のきっかけを作って頂いた江坂理事に、その江坂理事との出会いとなるITC中部理事会に推薦頂いた水口理事長に感謝申し上げます。

今回の事例発表では、「地場産業振興に応えるITCビジネスのあり方～金融機関との連携～」と題して、親会社である大垣共立銀行との連携ビジネスを紹介する形態をとりました。

内容としては、最初に①会社概要で、大垣共立銀行と当社設立の経緯を紹介し、地方銀行の最大の特徴である地域密着営業と取引企業様へのグループ総合力での経営支援をPRし、同時に当社の存在意義を理解頂きました。



ITC中部理事 野村 龍一郎氏

続いて、②コンサルタント事業展開の背景・経緯として、当社が、何時頃からどの様にしてコンサルタント事業に関わり始めたかを、2002年当時、いわゆるシステム屋としての閉塞感、行き詰まりを感じ、現状を打破する手法の一つとして、制定されたITコーディネータを養成し、システム構築の上流工程である情報企画、さらには経営戦略策定分野までも挑戦の対象とした事を説明致しました。

その具体的事例として、③ラブリークーテン(株)、株岩田製作所様にご理解を頂いて、実名で、コンサルティングの内容や改革のターゲットとした業務を説明し、また、今回のコンサルティング途上での2006年の「IT経営百選『最優秀賞』」の受賞、2008年には、「中部IT経営力大賞『大賞』」を受賞できた事を披露して、同社に謝意を表しました。

最後に、④実践の中で得た成果としての成功事例と教訓として学んだ失敗部分を説明して締め括りました。

今回の発表も、まだまだ、未熟な部分ばかりであり、課題の山を前にして、と言うところです。

ITコーディネータと言う資格で「メンガ喰えるのか」との危惧の声も耳にします。しかし、手をこまねいていても、前進も、ましてや解決はありません。

中部地区で400名を超えるITコーディネータが誕生しており、その大多数300名近い資格者が我がITC中部の会員となっています。

会員としてITC中部を支え、評議員、理事としてITC中部の運営に携わる事により、自身を向上させ、ITコーディネータが市民権を得られるようにと願っています。

(ITC中部理事 野村 龍一郎) 1

ITコーディネータ岐阜の活動

ITC中部の皆様、岐阜県在住のITコーディネータ、山田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、岐阜県各務原市に生まれ育ち、現在は岐阜市と大垣市の中間で長良川と揖斐川に挟まれたところにある瑞穂市(旧・穂積町)というところに住んでおります。岐阜地区、西濃地区を中心に岐阜県、愛知県をテリトリーに活動している独立系のITコーディネータです。仕事があればどこにでも出動いたしますので、ご紹介をいただければ幸いです。ここまでは私の宣伝です。(笑)

今回は、ITコーディネータ岐阜の紹介をさせていただきます。

ITコーディネータ岐阜は、岐阜県下の企業がITを導入・推進する際に経営者の良きパートナーとして助言・支援を行い、県下企業の身近な存在としてITコーディネータ活動を行い、情報化の促進ひいては地域経済の活性化に寄与することを目的とし、2002年に5名のITコーディネータが各3万円を拠出し発足し、中部IT経営応援隊や岐阜県産業経済振興センターからの要請があれば、直ちにメンバーが集まる体制をとりオンデマンド型にて活動を開始しました。

過去(ITSSP事業の時)には、事務局で経営者研修会など2案を企画して実績を挙げてきました。

2007年秋、発足5年経過した時点で、三宅先生より私に事務局が交代し現在に至っております。

現在は、会員数21名となり地元企業の皆様が、IT化により競争力を身に付けることを積極的に支援し、IT化の普及のために活動しております。



ITC中部 山田 和久氏

ITコーディネータ協会の機関誌にもITコーディネータ岐阜の活動状況を報告させていただきましたが、岐阜には「ITコーディネータ岐阜」という活動組織がありますので、私同様、ご愛顧のほど、よろしくお願いいたします。

(ITC中部 山田 和久)

ダブルペリアの戦略思考

ゴルフとは、ままならないスポーツ。会心のティーショットにて250yds近く飛ばし、さあ1ピン以内にのせてバーディ取りだ...ほとんどタイガーウッズになった気分です。セカンドショットに入りますが、結果が伴うのは20%以下の確率です。

さて、08年9月27日(土)快晴微風の絶好のコンディションのもと、第4回架け橋会ゴルフコンペが岐阜県多治見北CCにて開催されました。4組13名が参加し、私の組は稲垣秀二さんと武藤真一郎さんの3名でラウンド。お二人とも初参加です。武藤さんはなかなかの飛ばし屋でドライバーの飛距離にはビックリ。稲垣さんとは茶店でガソリン(?)を補給しながら、和気あいあいとラウンドさせて頂きました。

架け橋会は公平を期すべく、ダブルペリア方式にて運営されています。隠しホールのスコアにてハンディが計算されるというものです。そこで、GSC(戦略ゴルフスコアカード)なるものを考えてみました。ポイントは学習と成長の視点です。

<財務の視点>優勝賞品は商品券であり、ズバリ収益の向上。

<顧客の視点>朝出かける時に「あなた、優勝してきてね」とブレッシャーと共に送り出す愚妻の満足度向上。

<業務プロセスの視点>得意のウェッジにてピッチエンドラン、寄せワンのバーまたはボギーで90以下のスコアを目標とする



「第4回架け橋会ゴルフコンペ」にて
(後列左から3番目が筆者)

<学習と成長の視点>ルールの正しい理解→隠しホール12の内8ホールはPar4のミドルホールであることから、「ミドルでは、ダボでもいい」とゆとりを持ってラウンドする

かくして、架け橋会参加3回にて優勝2回準優勝1回という予想以上の成果となりました(KPIは紙面の都合上、割愛)

(ITC中部 三宅順之)

IT経営実践企業訪問 沢根スプリング様

2008年11月26日(水)、浜松市で初めての自主勉強会として、IT経営を実践する優良企業の見学会・勉強会を開催しました。名古屋方面からの参加者7名、浜松地区5名の参加を得て、総勢12名で沢根スプリング株式会社様を訪問しました。

沢根スプリング様と言えば遠州地区で経営マネジメントに興味のある人で知らない人はいないと言われるぐらいの超有名企業です。そのベースとなっているのが、「働く社員を幸せにする」という沢根孝佳社長の経営理念とその具体的な実践です。例えば、毎週1回社員が講師を務める勉強会や、毎月1回開催する全社懇談会、年1回自由テーマによる文集発行等、誌面では紹介しきれませんが、沢根社長のリーダーシップのもと数多くの施策を実践しています。

沢根スプリング様はばね及び関連製品の製造販売会社として、昭和41年に設立され創業以来ずっと黒字を続ける社員50名の会社です。品質・コストだけでは他社との差別化が困難な為、薄利多売の典型商品であるバネを、常識に挑戦する形で少量多品種の販売を目指すバネのコンビニ化、1本からでも注文を受ける通販に挑戦しました。「1社で100本より、1本を100社の方が儲かる仕組み」をビジネスモデルとして軌道に乗せました。その実現には社員の改善意欲・提案を生かした受注、製造、出荷の徹底した合理化を行い、実現ツールとしてITの積極的な活用があります。1回の受注入力で必要な伝票をすべて自動生成する仕組みや、図面・見積書・注文書などを電子化し即座に



意見交換会

照会する仕組みによる業務効率の向上対策。さらに顧客から在庫情報が見える仕組みや、Web・FAX・電話の各注文にも対面販売並のスピード感で顧客対応を実現しています。

見学会・勉強会の第二部として場所を変え、見学会の意見交換会を行いました。参加者からは、社長のリーダーシップで社員との信頼関係が構築できていることが素晴らしい等、色々な意見が出て盛り上がり、有意義な自主勉強会が実現できました。

(ITC中部 小川 貞明)

民間博物館「明治村」の自主勉強会

11月9日土曜日。雨も少し心配されたが、一日中曇りと何とか天気にも恵まれました。特に、紅葉はまだでしょうと思っていたのが、紅葉真只中の良い一日でした(写真)。

10時にITC中部の初めての試みが始まりました。自主勉強会で、座学ではなく、それもITとは直接関係のない民間博物館の「明治村」見学自主勉強会です。

事前申込者25名当日一人のキャンセルも無く、更に当日参加者2名を加えて27名での勉強会の開始です。

まずは、正門から第4高等学校の物理化学教室へ。学芸員の中野さんから「博物館明治村について」と題して、明治村の紹介をいただきました。開村のエピソード「建築家谷口吉郎氏が明治時代の建築物を救いたい」と思い、賛同した土川元夫(昭和30年代名鉄副社長)協力を申し出る」の紹介から始まり、明治村の40余年の歩みを紹介していただいた。特に開村30年を機に、見せる展示からより魅力的に見せる(体験型明治)ことを目標に、展示の変更と案内の必要性からボランティアガイドの導入。(ちなみに今回の企画は、評議員の池山さんが明治村のガイドボランティアをしていると知ったことから始まりました。)加えて、色々な体験メニューの紹介を受けました。

その後早速、池山さんを中心に明治村の見学を開始。12時には、碧水亭にて鳥鍋をいただき、再び物理科学教室へ。そこでは、横幕所長が袴姿で我々を迎えていただき「明治村の経営と



「明治村」自主勉強会

題して、明治村の概要と近年の取り組みについて講演いただきました。特に際立ったのは、開村当時の入村者150万人が、2000年には40万人を切ったことにあります。

先程の変革は、実はこの危機感から発生し、その危機感の全体での共有からできたことを知り、今回の見学の意義を感じ取りました。その後また村内を見学の上、16時に解散。

今回の自主勉強会の開催に当りご苦勞戴いた池山昭夫さんに末筆ながらお礼を申し上げます。

(ITC中部 谷口 卓)

Open the future.

お客様に喜ばれる I T サービスを **PRISM** シリーズにてお届けします



- 製造業様向け生販統合管理システム『**NK-PRISM**』
- 流通卸売業様向け販売管理システム『**Web販売-PRISM**』
- オフィス環境の効率化をお手伝い『**Office-PRISM**』
- 経営とITを橋渡しするコンサル人材集団(13名)『**ITC-PRISM**』

4つのPRISM、是非、お試し下さい

ISO14001 / ISO27001 認証登録
KCS 共立コンピュータサービス

〒503-0006 岐阜県大垣市加賀野4丁目1番地の9
 TEL (0584)77-2800(代) FAX (0584)77-2841
 URL <http://www.okb-kcs.co.jp>
 URL <http://www.kcs-prism.jp>

もし大地震でシステムが崩壊したら...

データを復旧し、業務を継続できますか？
 多くの企業の現状

システムとバックアップデータと同じ場所に保管している。

！ システムと一緒にバックアップデータも壊滅

外部搬送のタイミંગは週1回、または月1回。

！ 古いデータを復旧したとして使いものになるか？

一刻も早く現実的な災害対策が必要だ。しかし...

新たなハードやソフトを買わないと...

データセンターなど運用施設が必要になる

要員の確保をしなければ...

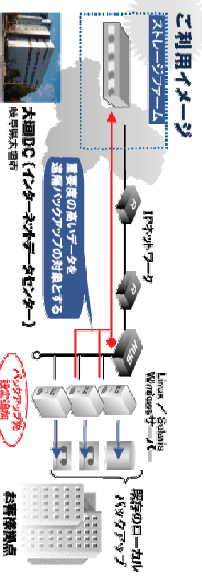
コスト負担大

地震に強い専用ストレージを利用
 すぐにも災害対策を始められる

災害対策に必要な資源だけ借りるという発想

IDC / インターネットデータセンター リモートバックアップ

- ☑ **遠隔バックアップを少予算でスタート**
 →専用線もしくは安価なB3プロック回線を利用して、オンラインによる遠隔地バックアップが可能で、回線については、グループウェアもしくは専用回線化ソフトにより、セキュリティを確保しています。
- ☑ **セキュリティ面で安心**
 →お客様の重要なデータを、IDC内でセキュリティエリアでお預かりします。貴会社の24時間常駐による厳しい入退館チェック。非接触ICカード(ELWSE)、虹彩認識システム、サーバーラック個別鍵からなる4段階のセキュリティを施します。
 ※お要領責任者(事前登録が必要)は24時間365日入退館可能です。
- ☑ **システムへの変更必要なし**
 →回線割当てとソフトウェア先の設定変更のみ。
- ☑ **震度7に対応した堅牢な建物構造**
 →IDCの大連IDCには免震ビル構造により、地震発生時の損壊れを吸収、設備の故障も防止します。
- ☑ **24時間365日の監視体制が可能**
 →磁気媒体への定期的バックアップ(365日毎日実施)。



お問い合わせは



DSK 株式会社 データシステム
 TEL 058-279-3481
 〒501-6196 岐阜市日置江1-58
 FAX 058-279-2266
 URL <http://www.densan-s.co.jp>



『経営とITの真ん中に』タツクです

■サービスメニュー

システムインテグレーション

- ☐ 各種製造ソリューション
- ☐ サプライチェーンマネジメント
- ☐ クレーム資産の見える化
- ☐ e購買構築支援

ネットワークソリューション

- ☐ グローバルネットワーク構築支援
- ☐ 無線LAN構築支援
- ☐ TV/Web会議

セキュリティソリューション

- ☐ セキュリティアクセスメント診断
- ☐ 入退館管理
- ☐ 事務所セキュリティ取り組み事例

その他サービス

- ☐ 情報機器販売
- ☐ ハンジングサービス
- ☐ 仮想化アクセスメント
- ☐ 環境取り組み紹介

タツク株式会社

〒503-0803 岐阜県大垣市小野4丁目35番地の12

TEL: (0584) 75-6512 FAX: (0584) 75-6504

情報資産価値の見える化をお手伝い

タツクの財産は人です。技術・知恵・人材からなるフロム集団として顧客満足、社会貢献を目指します。

手軽さと実績で 選ぶなら……

インターネットで簡単に使えるSaaS型会計ソフト

ネットde会計Jは、中小企業・個人事業主を対象としたSaaS型会計ソフトです。多くの会計事務所、商工会議所でも取り扱われており、サポート体制も万全です。



平成20年
認定行政書士
特級成績者
「ソフトウエア・プロダクト・
オブ・ザ・イヤー2008」受賞

1 パソコン会計ソフトを導入したことがあ
るけれど、難しくて断念してしま
った。✓

2 2台のパソコンで使いたいけれど、
LAN対応のソフトは高くして導入に
踏み切れない。✓

3 税理士さんとのデータのやりとりが
わずらわしい。✓

「第3回ASP・SaaS・ICTアウトソーシングアワード2009」
「クラウドファインディング」受賞
「クラウド」受賞

平成19年度情報化月間 情報化促進部門
「経済産業大臣賞」受賞

イチ押し機能

付箋機能
(コミュニケーションツール)

後で確認したい事項や質問と解答のやりとりなど、コミュニケーションツールとして機能します。インターネットを使って会計事務所や本社など、離れた場所にいる方も付箋を確認できます。